

第1 日時

令和3年(2021年)5月27日(木曜日) 午後4時から午後5時15分まで

第2 場所

彦根市役所2階 2-3会議室

第3 出席者等

1 委員

曹 美花委員、ミヤモト レナト トヨキ委員、NGUYEN QUANG VU委員

2 事務局

人権政策課 村田課長、佐伯多文化共生係 長、奥村主任通訳
危機管理課 藤井課長補佐

3 傍聴者・報道関係者

傍聴者2人、報道関係者1人

第4 内容(◎危機管理課発言、●人権政策課発言、○外国人住民モニター委員発言)

(1) 災害時の外国人支援にむけた取組について

◎防災の担当課である危機管理課職員からの説明

《概要》

・近年、大規模な地震や水害、土砂災害が全国で多発している。彦根市でもいつ起こるか
わからないので、次の3つをお願いしたい。

1、災害を知ること どのような災害が起こる可能性があるのか、また、災害が発生した時
どれくらいの被害になると考えられるか、知っておいてほしい。

2、避難を考えること 立ち退き避難(建物の外へ逃げる避難)と垂直避難(建物の中で
安全な場所へ逃げる避難)があるが、立ち退き避難をする際の避難
場所およびその経路確認を事前にしてほしい。

3、災害に備える 公的に備蓄もしているが、可能な範囲で自宅でも備蓄をしてほし
い。また、自宅内の家具を固定しておいてほしい。また、近所の人
と助け合えるような関係づくりをお願いしたい。

・彦根市の取組

防災マニュアル

やさしい日本語での表記をしているほか、ポルトガル語・英語・中国語・韓国語の多言語版を作成している。また、外国人観光客向けに防災マニュアルの概要版を彦根駅と南彦根駅の2か所に設置し、災害発生時に確認してもらえるよう準備をしている。

全国避難所ガイド(アプリ)への登録

市内の避難場所の情報を掲載している。このアプリには現在地から避難場所への経路表示ができる機能やコンパス機能がある。

避難場所や避難誘導看板の英語表記とピクトサイン導入

市内に設置している避難誘導看板等について、英語表記を進めているほか、ピクトサインの併記を修繕のタイミングで順次実施している。

防災訓練への外国人住民の参加

避難所の運営は地域住民が行うことから、外国人住民もそこで活躍できるよう、避難所の開設訓練を毎年防災訓練にて実施している。

防災メールの多言語化

防災や防犯、火災の情報を登録いただいた方に多言語で送付する。

●防災メール多言語化についての説明(人権政策課から)

《概要》

・外国人住民は4月末現在2,721人で、国籍・地域別にみると次のとおり。

ベトナム	24%	フィリピン	16%
中国	20%	韓国	6%
ブラジル	19%		

・現在、日本語配信のみであるが、本年度8月より多言語での配信を開始する予定。

対応言語は、ベトナム語・中国語・ポルトガル語・英語・韓国語の5言語。

・その周知は、市内の外国人住民が住む世帯に全戸郵送でお知らせを送る。

お知らせの内容は資料1のとおり。

・各言語で見てももらえるようにはがきにQRコードを付ける。

QRコードをスキャンすると、その言語ごとのホームページへ遷移。

《意見交換》

○はがきで届くと目に付きやすいのでいい

○色も黄色だと注意を引くのでいいと思う。

○みんな災害に関心はあると思う。緊急事態があったら届くメールは翻訳したものなのか？

●日本語で送ると同じタイミングで翻訳されたものがそれぞれの携帯などに届く。

○メールの内容のことだが、その災害への対策についても書かれているか。

◎防災メールには対策はあまり書かれていない。例えば、台風に備えてほしいということをお知らせするメールを送る。

●家の周りを片付けてください、というような準備をしてほしいという内容のものは先に届いていたと思う。メールサービスを使って、外国人住民にだけ送ることができるのであれば、何か考えたい。ただ、先ほどの危機管理からの説明において日ごろから災害について考える必要があるということでもあったし、ほかの方法で何かお知らせできることを市として考えたい。このメール配信サービスで送ると翻訳してもらえるので有効利用できればいいと思う。

●基本的にややこしいものは機械翻訳ではできないので、詳細は直接聞いてほしいというような案内を考えていく必要がある。

○例えば、地震があったときにその対策などが一緒に何かで知ることができたらいいと思うが、震度のお知らせには書いていないと分かった。それなら防災訓練などに参加するのがいい。

外国人は災害のときに2つの壁がある。言葉の壁と文化の壁に困る。

○避難所などは文化の違いがあるので、それを使う時までに対応を考えないと困ると思う。避難訓練について、日本人は小さいころから学校でも実施されていて、経験済かもしれないが、外国人はわからない人も多い。どんなところで行っているものなのか、等知らせてくれると外国人にはとても役に立つと思う。

●毎年の防災訓練に外国人住民も参加してもらえるようにお知らせしているが、なかなか参加者が集まらないのが課題である。今度どうすれば集めることができるかなど教えてもらえるとありがたい。

○ベトナム語での案内があまりない。今後少しずつでも増えてくるとうれしい。

●昨年度のモニター会議でもベトナム語の翻訳対応がまだ少ないとの話も出ていた。今年度は、ベトナム語などの市で通訳者を雇用していない言語についても支援できるように、タブレット通訳ができるシステムを導入した。今後、ベトナム人コミュニティにもこの情報を伝えてもらえるとありがたい。